

受託サービス

DIA プロテオーム解析 One More Replication キャンペーン

2025 年 7 月 11 日 サンプル受付分まで

N=3 以上で
データ取得しませんか？

キャンペーン内容

統計解析に必要なデータポイント数を！
Replicate サンプルの分析を特価でご提案。

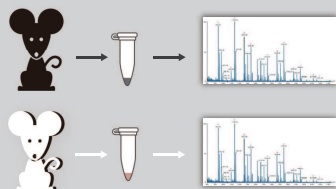
N = 1 (定価) + N = 2 + N = 3 ...
¥220,000 + ¥55,000 + ¥55,000



詳しいキャンペーン内容はこちらから..



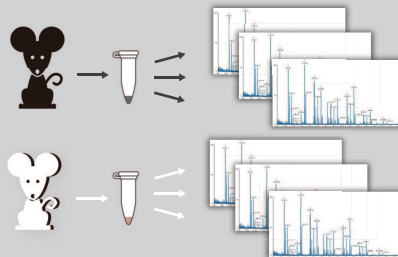
poor... 2 群, n = 1



マウス個体 1 匹ずつからサンプル調製・分析

検体間の比較は可能ですが、
別試験で再現性を確認する必要等があります。

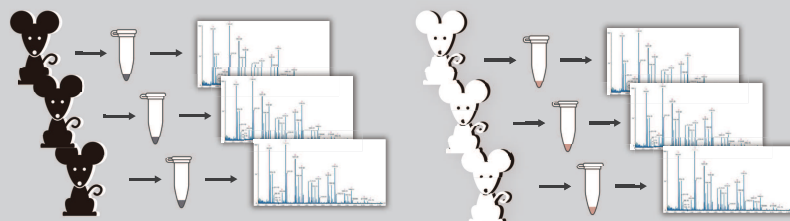
poor... 2 群, n = 3... ?



調製後の同一サンプルを 3 回分析

反復されているのは機器分析だけ。
統計解析も実施できますが、分析誤差しか議論できません。

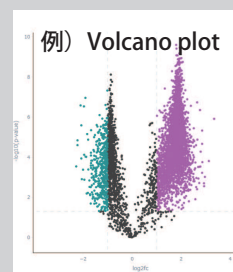
GOOD!! 2 群, n = 3



各処理群でマウス個体 3 匹ずつからそれぞれサンプル調製・分析

統計解析を実施し、有意な差異を抽出し、Volcano plot などの表現ができます。
有意に抽出されたタンパク質について、機能解析 (Gene Ontology 解析、Pathway 解析等) を行うことによって、
網羅的で膨大なデータをより活かす事が可能になるでしょう。

Stat Analysis



実験計画としては n 数が多い方が望ましいことは分かってる、でも、費用がその分かかりますよね..。

2 群、n = 3 (合計 6 検体) ならば、検体単価 × 6...! ? と躊躇されるのでは、..

そこで、今回、上記で Good と示したような実験計画をできるだけ安価に Replicate データを取ってもらうべく、
One More Replication キャンペーンをご提案します。

価格表は裏面 ⇒

One More Replication キャンペーン

	n = 1	Replicate	《例》2 群, n = 3 の場合
DIAプロテオーム解析	¥ 220,000 /検体	¥ 55,000 /検体	¥ 660,000 (※)
FFPE組織からの DIAプロテオーム解析	¥ 220,000 /検体	¥ 55,000 /検体	¥ 660,000
リン酸化 DIAプロテオーム解析 (リン酸化ペプチド濃縮フラクション分析 および 総ペプチド分析)	¥ 350,000 /検体	¥ 85,000 /検体	¥ 1,040,000

価格はすべて税別表記です

※ (¥ 220,000 + ¥ 55,000 + ¥ 55,000) × 2 群

▶ サービス内容

- ・ サンプル前処理
 - ↳ タンパク質抽出・精製 *
 - ↳ サンプルQC (タンパク質量・SDS-PAGE)
 - ↳ 酵素消化・精製
- ・ LC-MS/MS分析
- ・ データ解析

* 組織によっては別途で前処理費用が必要な場合があります。

▶ 使用する機器

- ・ 質量分析装置： Orbitrap Exploris 480 (Thermo Fisher Scientific)
- ・ HPLC： Vanquish Neo UHPLC (Thermo Fisher Scientific)



お問合せはこちら



キャンペーン情報

詳細・お問合せ・お見積りは… <https://apro-s.com>

プロテオーム解析で何ができる・・・？！

タンパク質の網羅的発現変動解析

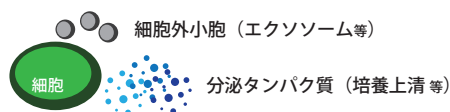
サンプル中に含まれるタンパク質の網羅的な同定を行うと同時に、比較定量データを取得。薬剤投与からのタイムコースや病態変化に伴うタンパク質の発現変動解析などに様々なサンプル・目的に向けて応用することが可能です。

PTM 解析 Post-Translational Modification



生体内で生成されたタンパク質は、リン酸化など多様な翻訳後修飾 (Post-Translational Modification : PTM) を受け、その機能や局在が調整されていると考えられています。このような PTM による質量変化を網羅的に検出する事が可能です。

セクレトーム解析



セクレトームとは、細胞より分泌される全てのタンパク質を指します。細胞培養上清のセクレトーム解析による疾患バイオマーカー探索等の利用が考えられます。

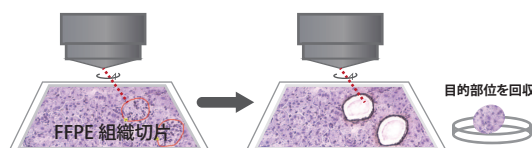
また、細胞から放出される細胞外小胞 (エクソソーム) には多種のタンパク質が内包され運搬されます。これらの解析にも質量分析は

インタラクトーム解析

(例) 近接依存性バイオチン標識法によるタンパク質相互作用解析
共免疫沈降法 (Co-IP) によるタンパク質相互作用解析

インタラクトーム解析の目的は、『interaction (相互作用) + omics (網羅的な) = 生体分子の相互作用を網羅的に理解する』事です。単純に網羅的タンパク質同定を行うだけでは得られないようなタンパク質 - タンパク質相互作用の情報も、前処理の工夫によって得られる可能性があります。

空間プロテオーム解析



組織切片からレーザーマイクロダイセクション (LMD) によって微細な目的領域を切り出し、プロテオーム解析を実施します。このような領域特異的な解析によって、どの部位でどのようなタンパク質が発現変動しているのかを掴み、新しいバイオマーカー探索等に繋がる可能性があります。

『プロテオーム解析個別オンラインセミナー』



実際に分析・解析を行う技術担当者から、個別対話型でご説明いたしますので、ご研究内容に必要な情報を効率よく収集して頂けます。ぜひご活用ください！



株式会社ファーマフーズ
アプロサイエンスグループ

■Url : <https://apro-s.com/>

■Tel : 088-678-6372

■Mail : bio@apro-s.com